

きるのが面白いからです。産業興しにもつながりますしね。熟練には時間がかかりますが、産学連携といったユニークな分野であると考えます。

◆グリークラブに入っていたけど…勉強するためにやめました

—先生の学生時代のことを教えてください。

森下先生 学生時代は常にスーツでした。社員教育の塾アルバイトをしていて小学生から50歳代までを相手にしていました。8年間続けてやって、ここから教師という道を選ぶというきっかけを得ました。

一年の時は、グリークラブに入っていたけど勉強するためにやめました。休み時間は図書館で勉強。嫌な授業時間は、授業を抜け、独学で勉強していました。あとゼミの先生の研究室にいて、入り浸っていました。

—なんというお名前ですか？

森下先生 百瀬 恵夫（ももせ しげお）先生です。もう退職なされています。人としての心構えの様なことに厳しい先生だったけど、基本的に自由主義者でしたね。

—これからの明治をどのように変えていきたいですか？

森下先生 講義の中で、学生も教授も成長していく授業。よりアカデミックにしていきたい。21世紀に通用する人材作りを。そして、体育会や理系のような人間関係の強い教育体系を、文系でもできるようにした

い。

—資格などをとって幅広く知識を持つということについては、どうお考えですか？

森下先生 一本を通すことで周りが見えることもある。だからといって、単純に多くを学んだところで成長するということはないです。しかし、ゼミナールのように仲間がやれば何でも出来ることもある。（追加補足：名言「つまみ食いをしていても、手軽には自分の力はつかない」をいただきました！）

—最後に1～2年生のために、読むべき本、やるべきことなどをお願いします。

森下先生 トヨタとついている本。あと『仕事の経済学』（小池和男/著 東洋経済新報社 2005年3月第3版）ってところかな。やるべきことは、せっきく政治経済学部に入ったのだから、政治、経済、地域行政のなかで、やるべきことをきめて目標を持ってやってほしいです。

あと、学内のネットワークやシステムを活用して色々な事をやること、図書館にいるだけでもいい。学校が好きになって毎日、休まず来てくれればいいね。様々なサービスが用意されているのだから。

これは、言ってもいいのかなあ。会計士、司法試験、公務員試験などでもいいけど、資格だけにこだわるな。もっと真理や真実の探求を、学問としてやって欲しいです。（最後の言葉にグサッときた資格マニアのインタビュアーであった。）

明大政経リレーブログ

戻る 進む 中止 更新 ホーム 自動入力 プリント メール

アドレス: http://seikei.keyword.com/nishikawa/keiougaku.html

5 駿台亭日乗

「おともすなる日記というものをおんなもしてみむとてするなり」（土佐日記）。

現代であれば、「学生もすなるブログというものをおじさんもしてみむとてするなり」。

というわけで、政治経済学部のおやじ教員のブログ風日記なのだー。

06.4.6木。

2時半に目が覚めて眠れない。3時半に起きる。メールチェック、雑用処理。きょう3年生のガイダンスで話す大学院進学について原稿を作る。さすがに眠い。朝食。

長女はきょうから新学期。その直前に妻から電話で、弁当を忘れたので食べてほしいとのこと。8時5分の電車に乗る。車内で新聞を出したら昨日の新聞だった。なにやってんだと不機嫌になる。

10時から3年生のガイダンスで大学院進学について5分ほど話す。3年生になったばかりで大学院と言われてもピンとこない様子。11時半ごろ弁当の昼食。帰りに神保町の駅で、弁当を持って帰るのを忘れたのに気づく。仕方がないので取りに帰る。それだけではしゃくなので、郵便局で学会の為替を組む。

帰宅後、古書店から届いた本を開けると、目当ての第6巻がない。その代わり別巻が入っていた。「全6巻」とあったので確認せずに飛びついたので失敗だった。次女の保育園の迎え。長女は3年3組となり、仲よしと同じクラスのままであれしそう。

かんぱりち (餅子) ふんぱち (結) やんぱち (1年) おやぱち (木年)

長女の描いたたまごっち

担任は男の先生になる。妻帰宅。入れ違いに出る。

7時前にお茶の水の居酒屋。二部の学生たちと飲む。10時半に帰宅。すぐに寝ればいいのに『政経の歩き方2006』を読み返してしまう。11時ごろ寝る。

インターネットゾーン

06.5.22月。

4時半前に起きる。メールチェック、雑用処理。きょうの大学院授業の予習。朝食。次女の保育園へ。車内でゼミ外書の予習。1限大学院、2限ゼミ外書。リパティ23階で昼食。3限、講義。最後の箇所がうまく説明できない。来週やり直しだ。

帰りの車内で、久恒啓一『通勤電車で寝てはいけない!』(三笠書房)。要するに意識が肝要とのこと。4時に学童クラブで長女、保育園で次女を拾う。次女は頬が赤いがリンゴ病ではないかと言われる。



姉妹そろって絵が得意

まず耳鼻科で長女の扁桃腺肥大をみてもらう。大きいがとくに治療の必要なしとのこと。続いて、小児科で次女の診察。リンゴ病らしい。登園許可証を出してもらえてほっとする。6時半ごろに帰宅。妻はすでに帰宅して夕食の準備など。7時すぎには夕食になる。家事、雑用など。9時半には寝る。

06.7.11火。

4時半すぎに起きる。メールチェック、雑用処理。大学院の外書の予習。

きょうから妻は3泊4日の東北出張。朝食後、子どもたちと見送る。次女を保育園に送り届けて大学へ。研究室で小レポートの整理、出席点の算出。亀山郁夫『大審問官スターリン』(小学館)を読み始める。ミニコミ誌の書評に取り上げるため。

午後は2時40分から会議。4時に終わる。すぐに帰る。車内で高根正昭『創造の方法学』(講談社)。20年前に読むべきだった。5時前に帰宅。やがて、手伝いに来てくれた祖母が次女を連れて帰宅。長女も学



父と教員、二束のわらじ

童クラブから帰宅。入浴、夕食など。子どもたちの相手。

9時半には寝る態勢。ところが例によって次女がふざけてじゃれついてくる。いい加減にしると少しきつく言ってしまう。ごめんね。

06.8.25金。

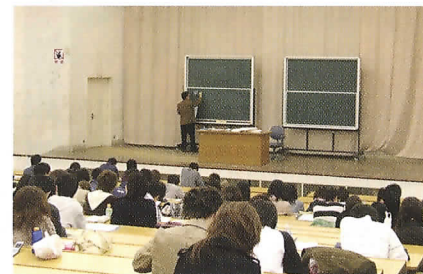
4時半に起きる。今日中に懸案の原稿を書きあげようと思う。1時間半くらいやって、一応の形になる。言い足りない点が多いが。すぐに出版社に送信。次女の保育園への送り。その足で大学へ。午前中、雑用でけっこう時間がとられる。きょうはオープンキャンパスで、御茶ノ水駅から続々と高校生、受験生が大学に向かってくる。

またおなかをこわす。午後的高校生相手の模擬授業に緊張しているのか。なんと気の弱いこと。模擬授業の準備。イギリスに留学しているゼミOGの残暑見舞いの返事を書く。

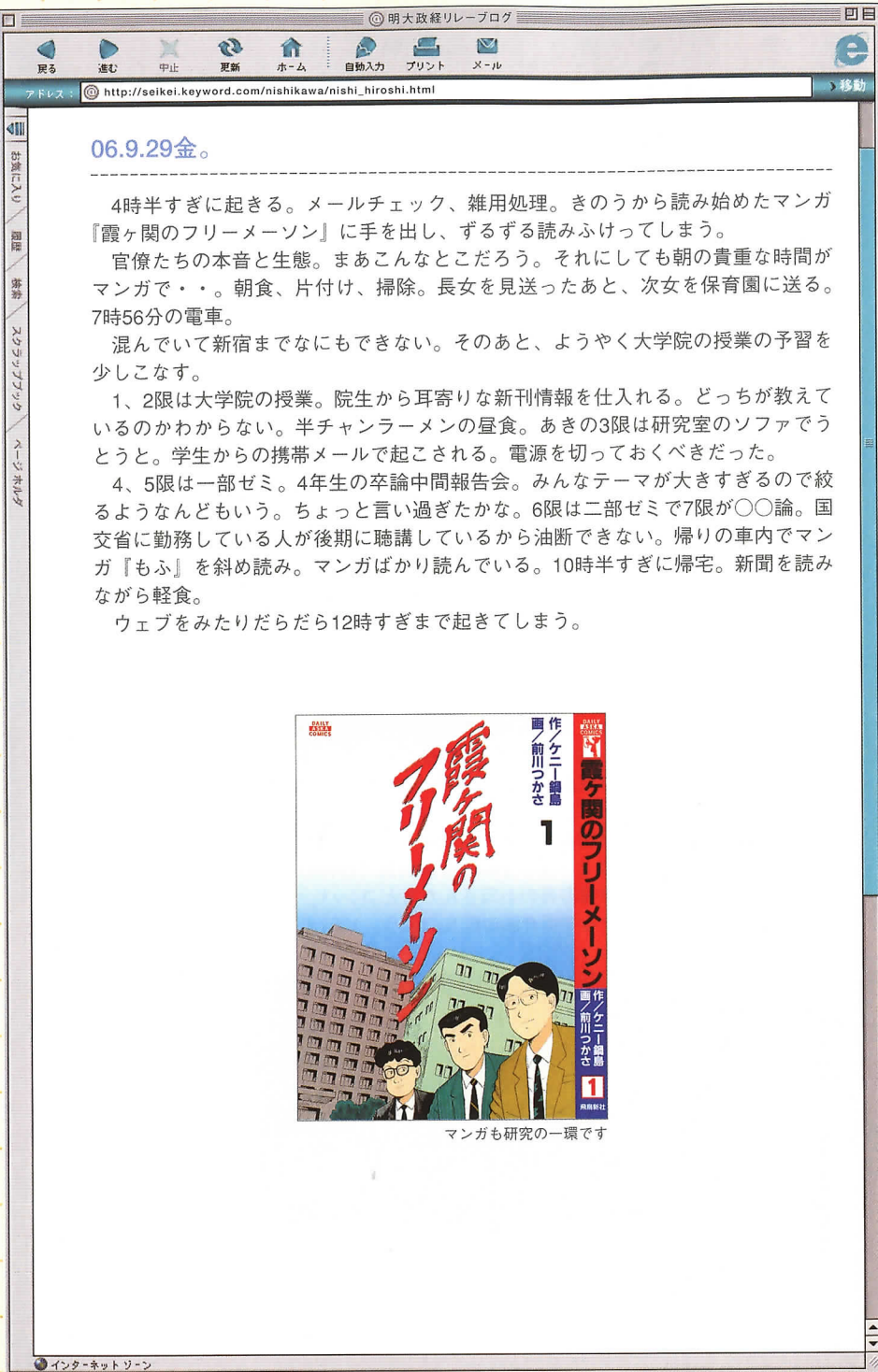
12時20分から模擬授業。題して「裁判しない裁判官たちが支配する日本の司法」。用意してもらった資料はすべてはける。やむをえないが途中退室が気になる。50分間どうやらやりおえる。2名の高校生から政経学部の授業ではこういう内容をやるのかと尋ねられる。政治っぽいことを話せばよかったと反省。それでも、おもしろかったです、というお世辞に救われた気持ちになる。

帰りの車内で熟睡。気づいたら調布だった。帰ってきて、雑用処理。4時に次女の迎え。右足の甲がはれてかゆがっているの、皮膚科につれていく。車内で井上ひさしのエッセイ集『本の枕草紙』(文春文庫)をよみはじめる。おもしろくて、診察を待つ間も夢中で読む。「自分を<職人>であると考えています」とのこと。1ミリでも近づきたい。

診察後、薬局で薬が出るのに時間が掛かって、結局、6時前に帰る。妻と長女は帰宅、入浴済み。次女と入浴。6時20分に全員で出かける。バスでカラオケ店へ。次女の保育園の卒園準備委員のお母さんたちとコンパ。子どもたちははじめてのカラオケにはじける。まるで保育園の延長のよう。10時までいる。帰宅後、すぐに寝る。



授業に妥協はなし



06.9.29金。

4時半すぎに起きる。メールチェック、雑用処理。きのうから読み始めたマンガ『霞ヶ関のフリーメーソン』に手を出し、ずるずる読みふけてしまう。

官僚たちの本音と生態。まあこんなところだろう。それにしても朝の貴重な時間がマンガで・・・朝食、片付け、掃除。長女を見送ったあと、次女を保育園に送る。7時56分の電車。

混んでいて新宿までなにもできない。そのあと、ようやく大学院の授業の予習を少しこなす。

1、2限は大学院の授業。院生から耳寄りな新刊情報を仕入れる。どっちが教えているのかわからない。半チャンラーメンの昼食。あきの3限は研究室のソファでとうと。学生からの携帯メールで起こされる。電源を切っておくべきだった。

4、5限は一部ゼミ。4年生の卒論中間報告会。みんなテーマが大きすぎるので絞るようなんともいう。ちょっと言い過ぎたかな。6限は二部ゼミで7限が〇〇論。国交省に勤務している人が後期に聴講しているから油断できない。帰りの車内でマンガ『もふ』を斜め読み。マンガばかり読んでいる。10時半すぎに帰宅。新聞を読みながら軽食。

ウェブをみたりしたら12時すぎまで起きてしまう。



マンガも研究の一環です

Column

和泉のIT基地といえば… メディア棟！

和泉校舎のなかでも、最新、最高水準の機能が集まったのが、メディア棟。ここでは、単に授業を受けるだけではなく、パソコンでメールを送ったり、映画を観ることができる。

2F パソコン自習室

「レポートを作らなきゃ!!」「インターネットをしたい」「レポートの印刷がしたい」と思ったら、パソコン自習室へ。

自習室にあるパソコンは基本的に平日8:50~21:20、土曜日8:50~16:20まで利用できる。(※夏季・冬季休業、明大祭などで時間変更あり)

パソコンの使い方はとっても簡単で、「好きなパソコンを選ぶ→パソコンを起動する→学生証を用意する→「カードを通してください」の画面が出たら→学生証をリーダーに通す」だけ。

自習室内には、白黒・カラー印刷できるプリンタがある。提出期限の迫ったレポートを、授業の合間に、素早く印刷することが可能。

自宅からノートパソコンを持ってきた人のために「持ち込みPCエリア」や複数人でパソコンを使った話し合いができる「グループ利用エリア」が完備されている。

パソコンに不具合が起きたり、パソコン操作が分からなくなったら、常時自習室内のスタッフに質問、相談することもできる。

2F CALL自習室

「TOEICに向けてリスニング能力を高めたい」「英語や中国語など語学の発音をしたい」「大画面でCNNを観たい」と思ったら、CALL自習室へ。

ここは、平日8:50~18:00、土曜日は8:50~16:20まで使える。

CALL自主室の利用方法は「自習室内の受付で、学籍番号と名前、使用したい座席を書く→使用したいパソコンに座る→パソコンを起動する(以下、パソコンの使い方と同じ)」利用目的別に、エリアが3種類に分かれている。